

☆☆☆☆ 第11号 ☆☆☆☆

『三つの無いは”危険信号”』

ooooさん！

お元気でしょうか？

毎日湿度が高い日の連続ですが、昨日はPM2.5の数字が150を超えていたりと環境問題を考えざるを得ない上海ですね。どうか食あたりなどには十分ご注意下さい。

今日は、日系工場で起こっている問題に焦点を当て、老婆心ながらooooさんが同じ轍を踏まないで済むようにとの気持ちで実例をご紹介しますと思います。

今日の為になるフレーズは、『三つの無いには要注意』です。

三つの無いとは何でしょうか？それは、

1. しない
2. できない
3. 存在しない

です。

覚えやすく、「三つの無い」といたしました。

具体的にはどんなことなのでしょう？

日系の企業では、幹部の皆さんが定期的に人事異動で交代される場合が多くあります。

新しく赴任された日本人幹部の方は、赴任された後当然現場を担当する部長や課長達と事情を共有するためいろいろな打ち合わせや会議を行われることになります。

そこで出てくるのが上の三つの無いです。

「中国ではそういうことはしません。」

「中国にはそういうものは存在しません。有りません。」

「中国ではそれはできません。法律が違います。」

もう少し具体的にお話しすると、

こういうものが欲しいのだが。。という質問に対しては、そんなもの見たことありません。

こういう風に改善したいのだが。。という要望に対しては、それは中国ではできません。

こういう風にするべきなのだが。。に対しては、中国ではそういう習慣はないし、やり方はしません。等々。いちいち否定から入る。

最初は面食らうが、周りがずっとそういうことを言い続けると、『中国ってそうなんだな』

と何となく納得してしまう。敢えて波風を立てることをできるだけ避けがちな日本人の場合、物事の核心に至る前に諦めてしまうことが多いようなのです。

しかし、○○○○さんにも明確にご理解いただきたいことは、日本で普通のことが、中国でできないとか、無いとか、行わないという時代は過ぎ去り、正しいことを正しく行わなければ経営も、生産も、販売もできない状況にあるということなのです。

自社スタッフが、『ナイ！ナイ！』づくしで来たらそれは危険信号とご判断下さい。

完全に中国人スタッフにやられているケースが沢山報告されています。

今日はちょっと脅し的なお話となってしまいましたが、私のこれまでの経験から申し上げますと、10年以上こちらでうまく経営を続けておられる日系企業様のほとんどが、出戻りの責任者（立ち上げ時に駐在し、帰国したりとか、他国で勤務された後、再度中国に赴任される方々）を再度責任者として送り込まれているという理由がここにあるのです。

また「そういう方は、コスト削減の為に何でもかんでも自社で行う」という方向はとらず、逆に「外部に任せられるものは委託し、責任だけを追及する」という方法をとられています。

理由は簡単です。

自社でやるというリスクより、他社に委託するリスクの方が小さいからです。

無駄な時間と労力はできるだけ避け、本来の営業や生産に集中する方が如何に楽でしょうか。これが中国での経営のポイントだという事なのでしょう。

ただ、○○○○さんも『誰に何を任せるか、委託するか』は、よくお考えになってご判断下さい。

STECO はいつでもご用命いただければ参上いたします。これまで 8 年間の中国での省エネ・環境改善の実績から種々のノウハウと方法論をもってお待ちしております。

『郷に入ったら郷に従え』

省エネ・環境改善も日本のものそのままでは中々中国では適応できません。それこそは STECO にお任せ下さい。

○○○○さんからのご連絡お待ちしております。

ご質問、ご要望何でもお声をかけてください。

上海清環環保科技有限公司

E-mail: toshi@steco.asia